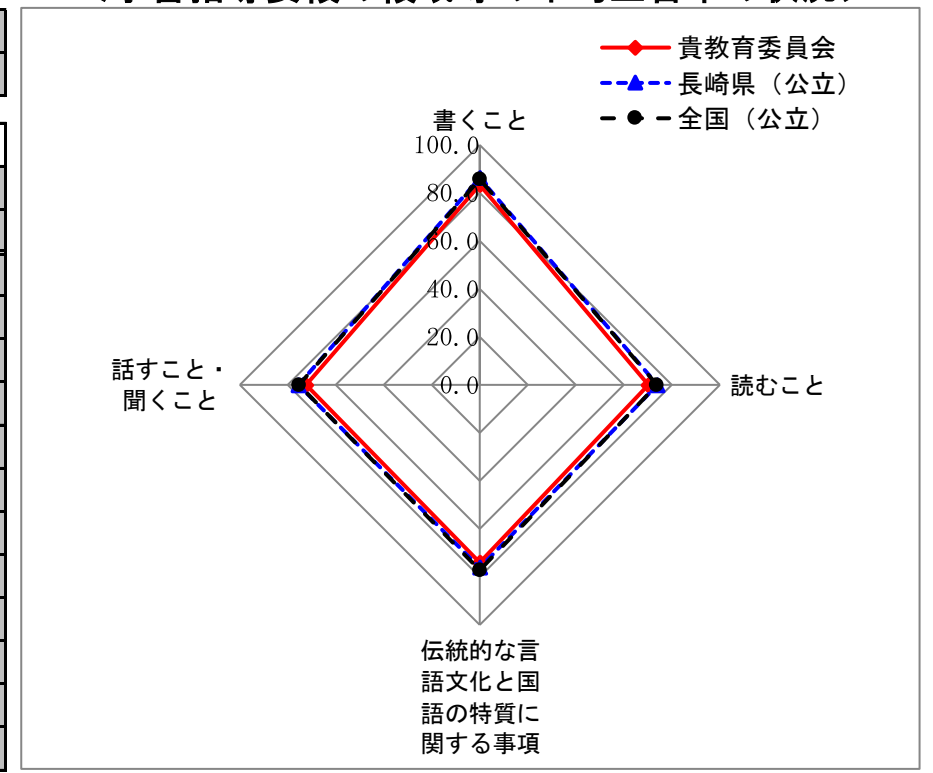


・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,336	982,511	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		32	74	77	77.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.4	75.6	75.4
	書くこと	4	83.4	86.2	85.7
	読むこと	6	70.2	74.0	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	74.0	76.2	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	72.4	75.6	75.4
	書く能力	4	83.4	86.2	85.7
	読む能力	6	70.2	74.0	73.8
問題形式	言語についての知識・理解・技能	18	74.0	76.2	77.2
	選択式	22	76.2	78.7	78.5
	短答式	10	70.0	73.1	75.1
	記述式	0			

＜学習指導要領の領域等の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

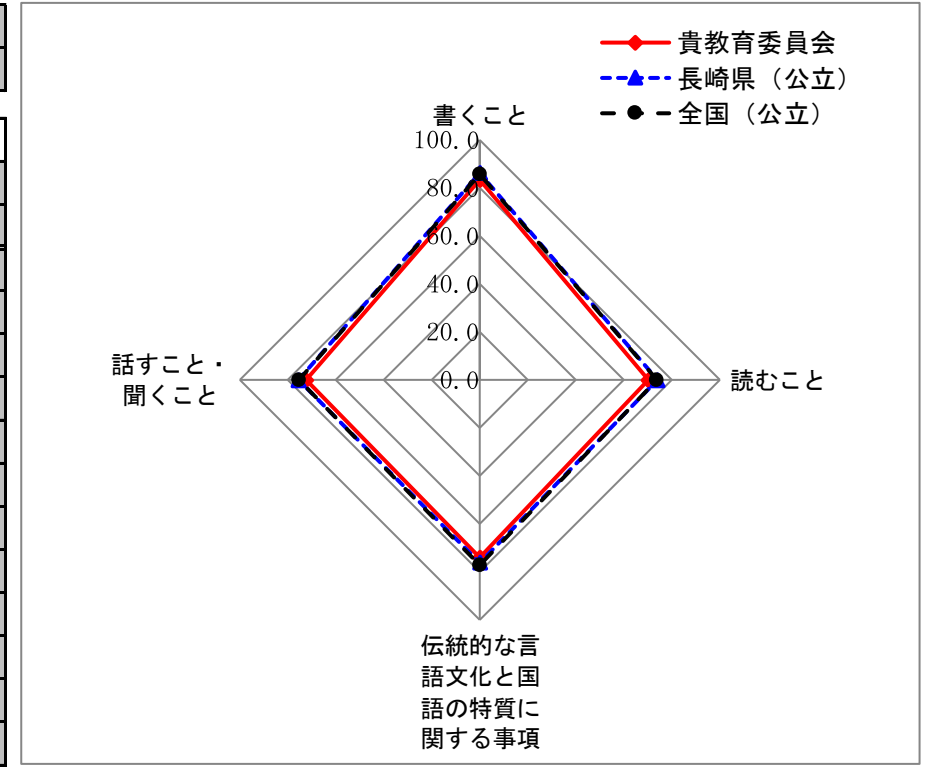
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）
1	画面に示された字幕についての説明として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する				2 (1) イ (7)				○	○			81.1	82.5	81.4	0.0	0.0	0.1
2一	スピーチをより分かりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ウ							○			○	87.3	89.1	87.8	0.1	0.1	0.1
2二	スピーチの構成を説明したものとして適切なものを選択する	事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す	1 イ							○			○	77.2	80.3	79.6	0.3	0.2	0.3
3一	それまでがんばってきた様子が読み手により伝わるように書き直す	書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書く		2 エ						○			○	85.7	87.6	86.0	3.3	2.8	3.3
3二	一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する	書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直す		2 オ						○			○	82.4	84.0	84.3	0.1	0.1	0.2
4一	見出しの内容に対するまとめとして適切なものを選択する	文章の要旨を捉える			1 イ								○	79.9	82.5	81.0	0.2	0.1	0.2
4二	文章について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ			1 エ								○	67.6	72.4	72.9	0.4	0.2	0.3
5一	〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成を工夫して分かりやすく書く		2 イ						○			○	74.1	79.9	79.8	0.3	0.1	0.2
5二	〈推薦者から〉の欄に書き加える具体例に使う情報として適切なものを選択する	目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる		1 ア						○			○	91.5	93.4	92.7	0.2	0.1	0.2
6一	登場する人物を整理したものに当てはまる人物の組合せとして適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ					○			○	70.7	74.8	74.8	0.6	0.5	0.5
6二	「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する				1 ウ					○			○	54.6	58.7	60.1	0.5	0.4	0.5
7一	先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す	相手に分かりやすいように語句を選択して話す	1 ウ							○			○	47.7	52.8	54.0	6.3	5.0	5.1
7二	結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する	話すための材料を人との交流を通して集める	1 ア							○			○	77.2	80.2	80.4	0.4	0.4	0.4
8一	詩について説明したものとして適切なものを選択する	文章の表現の仕方について自分の考えをもつ			2 ウ								○	80.2	82.6	81.9	0.6	0.6	0.6
8二	二人の交流の様子について説明したものとして適切なものを選択する	文章に表れているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする			1 オ					○			○	68.5	72.7	72.3	0.8	0.8	0.8

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

**集計結果**

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,336	982,511	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		32	74	77	77.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.4	75.6	75.4
	書くこと	4	83.4	86.2	85.7
	読むこと	6	70.2	74.0	73.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	74.0	76.2	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	72.4	75.6	75.4
	書く能力	4	83.4	86.2	85.7
	読む能力	6	70.2	74.0	73.8
問題形式	言語についての知識・理解・技能	18	74.0	76.2	77.2
	選択式	22	76.2	78.7	78.5
	短答式	10	70.0	73.1	75.1
	記述式	0			

**<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>**



**問題別集計結果**

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

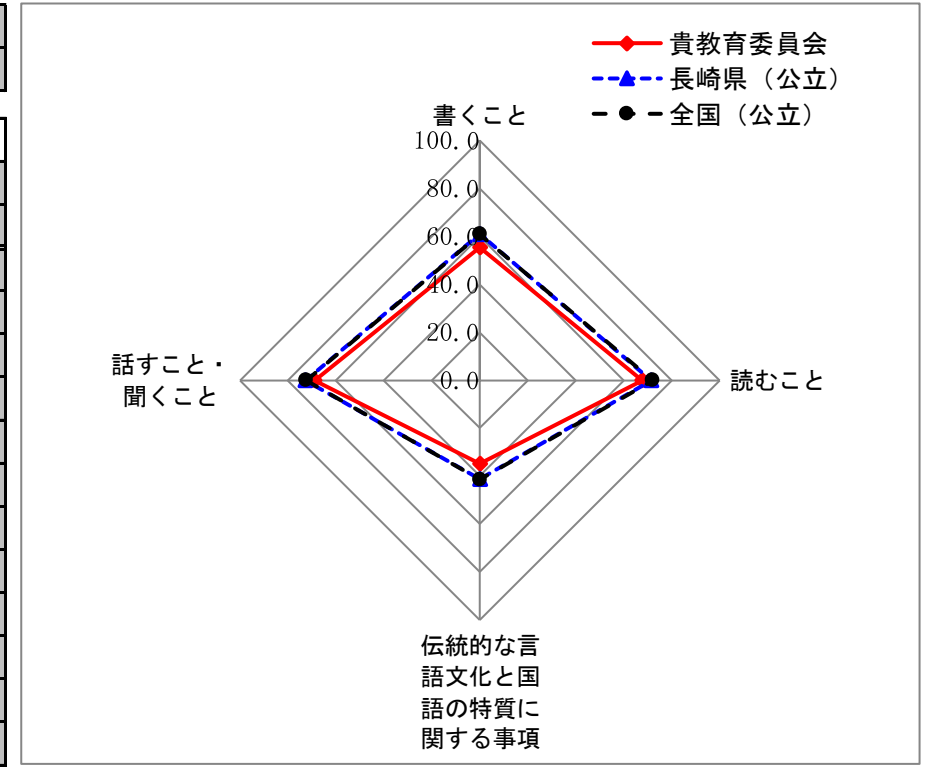
問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）
9-1	漢字を書く（組織の基を大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く				2 (1)ウ(4)					○	○		47.6	56.9	62.8	24.9	19.9	15.8
9-2	漢字を書く（雨で運動会がエンキになる）		2 (1)ウ(4)				○	○		54.7	57.6	62.3	17.2	15.8	13.5				
9-3	漢字を書く（店をイトナむ）		2 (1)ウ(4)				○	○		82.4	83.7	85.4	11.3	9.8	8.3				
9-2-1	漢字を読む（覚悟を決める）	文脈に即して漢字を正しく読む				2 (1)ウ(7)					○	○		98.6	98.7	98.7	1.0	0.8	0.9
9-2-2	漢字を読む（鮮やかな色合い）		2 (1)ウ(7)				○	○		93.5	92.2	94.5	0.8	0.7	0.8				
9-2-3	漢字を読む（水が垂れる）		2 (1)ウ(7)				○	○		88.8	92.3	94.3	1.4	1.2	1.1				
9-3ア	適切な語句を選択する（えりを正して話を聞く）	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う				1 (1)イ(9)					○	○		73.0	75.0	76.9	0.9	0.8	0.7
9-3イ	適切な語句を選択する（よい結果を早く出したときは、急がば回れといわれるように、かえって慎重に議論を進めるべきだ）		1 (1)イ(9)				○	○		55.9	60.3	61.4	0.8	0.8	0.7				
9-3ウ	適切な敬語を選択する（先生もこの書店をよくご利用になるのですね）		2 (1)イ(7)				○	○		84.6	84.0	85.7	0.8	0.7	0.7				
9-3エ	適切な語句を選択する（私は映画が大好きです。ただし、映画なら何でも見るわけではありません）		1 (1)イ(2)				○	○		94.7	95.3	95.5	0.7	0.6	0.6				
9-3オ	適切な語句を選択する（チームの勝利を確信する）	2 (1)イ(4)				○	○		91.5	93.5	94.2	0.6	0.7	0.6					
9-4	言い直した意図として適切なものを選択する	助詞の働きについて理解する				2 (1)イ(2)					○	○		90.3	91.8	91.6	0.8	0.8	0.7
9-5	話合いの記録として適切な言葉を考える	事象や行為などを表す多様な語句について理解する				1 (1)イ(9)					○	○		30.3	34.4	35.8	16.3	13.4	13.1
9-6-1	楷書と比較したときの行書の説明として適切なものを選択する	楷書と行書との違いを理解する				1 (2)イ					○	○		55.5	56.3	49.6	1.3	1.4	1.0
9-6-2	行書で書かれた「和」の特徴の組合せとして適切なものを選択する	行書の特徴を理解する				1 (2)イ					○	○		63.7	64.9	63.7	1.6	1.7	1.1
9-7-1	「徒然草」の中の語句の訳を抜き出す（あやしう）	古文と現代語訳とを対応させて内容を捉える				2 (1)ア(4)					○	○		70.8	74.4	77.2	5.4	4.8	3.9
9-7-2	「徒然草」の作品の種類として適切なものを選択する	古典には様々な種類の作品があることを知る				1 (1)ア(4)					○	○		75.9	78.0	78.5	1.9	2.0	1.3

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

**集計結果**

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,339	982,619	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		9	68	72	72.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	68.9	72.7	72.4
	書くこと	4	55.4	61.0	60.8
	読むこと	4	67.7	71.5	72.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	34.8	41.2	41.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	50.4	56.0	55.9
	話す・聞く能力	3	68.9	72.7	72.4
	書く能力	4	55.4	61.0	60.8
	読む能力	4	67.7	71.5	72.1
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	34.8	41.2	41.4
	選択式	5	76.8	80.1	79.6
	短答式	1	76.9	80.4	84.1
	記述式	3	50.4	56.0	55.9

**<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>**



**問題別集計結果**

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）
1一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する			2イ				○		○			83.6	85.0	84.1	0.1	0.1	0.1
1二	地の文にある言葉を発した人物を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する			1ウ				○		○			76.9	80.4	84.1	7.6	5.8	5.3
1三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く		1ウ	1エ	1(1)イ(注)	○		○	○		○		34.8	41.2	41.4	16.6	14.2	14.3
2一	スピーチの中で実演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2ウ						○		○			83.3	85.5	85.4	0.2	0.1	0.2
2二	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2エ						○		○			71.2	74.8	74.2	0.2	0.2	0.3
2三	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	1イ	2ウ			○	○	○			○		52.0	57.7	57.6	6.8	5.0	5.8
3一	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		1イ					○		○			70.2	75.9	75.3	0.3	0.2	0.3
3二	太宰治と他の作家との関係を書き直したものととして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る			1カ				○		○			75.6	79.3	78.7	0.4	0.4	0.5
3三	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることで興味をもってもらえると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ		1ア			○	○			○			64.5	69.2	68.8	9.3	6.7	7.4



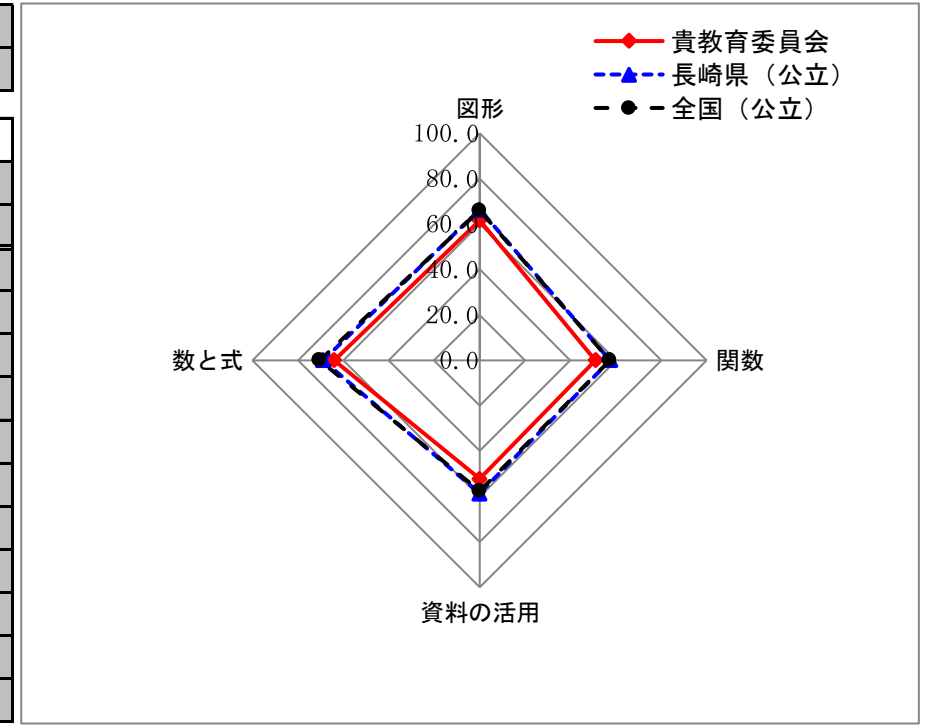
問題別調査結果 [数学A：主として知識]  
佐世保市教育委員会一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,344	982,811	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		36	59	64	64.6
学習指導要領の領域	数と式	12	64.0	68.9	70.4
	図形	12	61.6	66.4	66.0
	関数	8	51.0	57.5	57.4
	資料の活用	4	52.2	58.6	57.6
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	20	62.1	67.8	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	16	55.1	60.2	60.2
問題形式	選択式	13	61.9	66.1	66.8
	短答式	23	57.3	63.5	63.4
	記述式	0			

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）			
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
1 (1)	$\frac{5}{9} \times \frac{2}{3}$ を計算する	分数の乗法の計算ができる	小6 (1) イ					○*				○			81.8	84.3	87.1	1.6	1.1	1.3
1 (2)	$a$ と $b$ が負の数のときに四則計算の結果が負の数になるものを選ぶ	2つの負の数の和は負の数になることを理解している	1 (1) イ									○	○		61.6	64.9	69.3	0.4	0.2	0.2
1 (3)	$10 - 6 \div (-2)$ を計算する	加減乗除を含む正の数と負の数の計算において、計算のきまりにしたがって計算できる	1 (1) ウ					○				○			71.9	75.5	75.6	1.0	0.8	1.1
1 (4)	3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す	実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1 (1) ア、エ									○			86.2	89.5	89.4	3.4	2.7	2.8
2 (1)	5mの重さが $a$ g の針金の1mの重さを、 $a$ を用いた式で表す	数量の関係を文字式で表すことができる	1 (2) エ					○				○			52.4	56.1	56.3	10.8	9.4	8.1
2 (2)	$100 - 20a = b$ の式が表される場面を選ぶ	与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ることができる	1 (2) エ					○				○			71.4	75.3	75.4	0.3	0.2	0.3
2 (3)	$(2x + 5y) - (6x - 3y)$ を計算する	整式の加法と減法の計算ができる	2 (1) ア					○				○			70.7	76.8	78.5	1.9	1.4	1.7
2 (4)	等式 $x + 4y = 1$ を $y$ について解く	等式を目的に応じて変形することができる	2 (1) ウ					○				○			42.0	53.0	56.1	12.6	9.7	8.8
3 (1)	一元一次方程式 $4x = 7x + 15$ を解く	簡単な一元一次方程式を解くことができる	1 (3) ウ					○				○			79.9	84.2	82.7	8.0	5.6	6.4
3 (2)	数量の関係を一元一次方程式で表す	具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる	1 (3) ウ					○				○			46.0	51.9	52.8	23.9	19.0	16.6
3 (3)	$x + y = 2$ の解の意味について選ぶ	二元一次方程式の解の意味を理解している	2 (2) ア									○	○		53.4	56.6	59.6	1.8	1.0	1.0
3 (4)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} x + y = 5 \\ \frac{x}{6} + \frac{y}{3} = 1 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2 (2) ウ					○				○			50.5	59.0	62.2	20.7	17.5	14.9
4 (1)	角の二等分線の作図の根拠となる対称な図形を選ぶ	角の二等分線の作図が図形の対称性を基に行われていることを理解している	1 (1) ア									○	○		64.3	68.7	67.4	1.6	0.8	1.0
4 (2)	$\triangle ABC$ を、点 $A$ から点 $P$ に移すように平行移動した図形をかく	平行移動した図形をかきことができる	1 (1) イ					○				○			91.3	93.3	90.6	2.6	1.4	2.5
4 (3)	半径が5cm、中心角が $120^\circ$ の扇形の弧の長さを求める	扇形の弧の長さを求めることができる	1 (2) ウ					○				○			26.5	32.0	30.7	22.7	18.6	19.7
5 (1)	直方体において、与えられた辺に平行な面を書く	空間における直線と平面の平行について理解している	1 (2) ア									○	○		64.8	69.3	67.0	3.8	2.5	2.9
5 (2)	1回転させると円錐ができる平面図形として正しいものを選ぶ	円錐が回転体としてどのように構成されているかを理解している	1 (2) イ									○	○		89.2	91.6	90.1	0.6	0.3	0.4
5 (3)	立方体の見取図を読み取り、2つの線分の長さの関係について、正しい記述を選ぶ	見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取ることができる	1 (2) イ					○				○			77.9	82.7	80.2	0.8	0.4	0.6

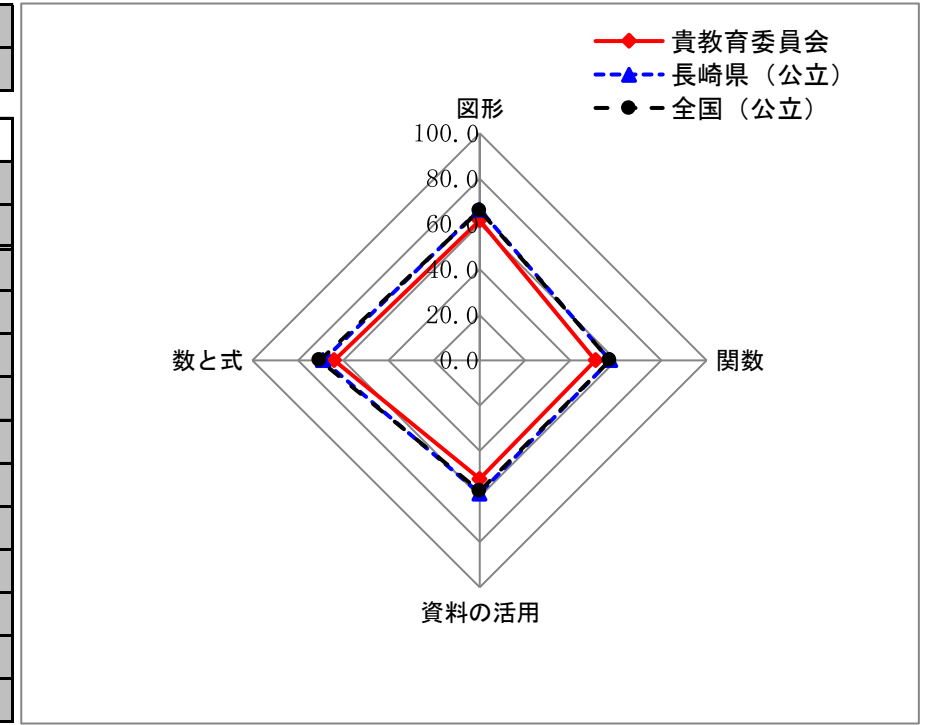
問題別調査結果 [数学A：主として知識]  
佐世保市教育委員会一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,344	982,811	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		36	59	64	64.6
学習指導要領の領域	数と式	12	64.0	68.9	70.4
	図形	12	61.6	66.4	66.0
	関数	8	51.0	57.5	57.4
	資料の活用	4	52.2	58.6	57.6
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	20	62.1	67.8	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	16	55.1	60.2	60.2
問題形式	選択式	13	61.9	66.1	66.8
	短答式	23	57.3	63.5	63.4
	記述式	0			

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）		
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
5（4）	円柱の体積を求める	円柱の体積を求めることができる	1（2）ウ					○			○	41.2	49.9	51.8	11.1	8.4	9.7		
6（1）	錯角の位置にある角について正しい記述を選ぶ	錯角の意味を理解している	2（1）ア						○	○		37.9	41.0	43.1	0.8	0.4	0.6		
6（2）	n角形の1つの頂点からひいた対角線によって分けられる三角形の数を数える	多角形の内角の和の求め方を理解している	2（1）イ						○	○		66.6	71.2	69.4	1.1	0.7	0.9		
7（1）	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2（2）ア						○		○	70.7	77.0	78.6	7.7	5.1	4.9		
7（2）	与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ	作図の手順を読み、根拠として用いられている平行四辺形になるための条件を理解している	2（2）ウ						○	○		39.5	46.7	49.1	1.0	0.7	0.9		
8	事柄「∠ABD=∠CBD、∠ADB=∠CDBならば、AB=CBである。」の仮定をすべて書く	命題の仮定と結論を区別し、与えられた命題の仮定を読み取ることができる	2（2）イ					○			○	68.9	73.7	74.3	13.1	9.6	10.1		
9	長方形の縦の長さxと面積の関係を、「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	1（1）ア						○		○	16.6	26.9	20.6	26.7	18.5	20.6		
10（1）	比例 y=4x について、x の値が3のときのy の値を求める	与えられた比例の式について、xの値に対応するyの値を求めることができる	1（1）エ					○			○	79.9	84.0	84.6	10.0	7.5	7.3		
10（2）	比例のグラフから式を求める	与えられた比例のグラフから、xとyの関係を y=ax の式で表すことができる	1（1）エ					○			○	48.7	57.9	57.1	13.7	9.2	9.6		
10（3）	反比例の表から比例定数を求める	与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している	1（1）イ						○		○	28.2	35.0	34.4	27.2	22.5	20.8		
11（1）	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、式で表すことができる	一次関数のグラフの傾きと切片の値を基に、xとyの関係を y=ax+b の式で表すことができる	2（1）イ					○			○	66.6	75.2	75.9	14.8	10.2	10.1		
11（2）	変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ	与えられた一次関数の表において、変化の割合の意味を理解している	2（1）イ						○	○		48.7	51.3	56.0	2.1	1.9	1.7		
12	線香が燃えるときの時間と長さの関係を表したグラフを基に、2cm燃えるときの時間を選ぶ	具体的な事象における2つの数量の変化や対応を、グラフから読み取ることができる	2（1）ア					○		○		64.3	67.9	67.6	1.6	1.0	1.1		
13	二元一次方程式が表すグラフを選ぶ	二元一次方程式を関数を表す式とみて、そのグラフの傾きと切片の意味を理解している	2（1）ウ						○	○		55.2	61.9	63.0	3.4	2.2	2.2		
14（1）	反復横とびの記録の範囲を求める	範囲の意味を理解している	1（1）ア						○		○	23.9	32.4	28.6	12.2	9.8	9.6		
14（2）	6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める	与えられた度数分布表について、ある階級の相対度数を求めることができる	1（1）イ						○		○	37.2	47.7	45.5	19.7	14.9	15.0		
15（1）	さいころを投げるときに「同様に確からしい」ということについての正しい記述を選ぶ	「同様に確からしい」ということの意味を理解している	2（1）ア						○	○		74.8	78.8	78.0	2.6	2.1	1.8		
15（2）	赤玉3個、白玉2個の中から玉を1個取り出すとき、その玉が赤玉である確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる	2（1）ア					○			○	72.9	75.6	78.3	12.5	9.6	7.9		

\* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。



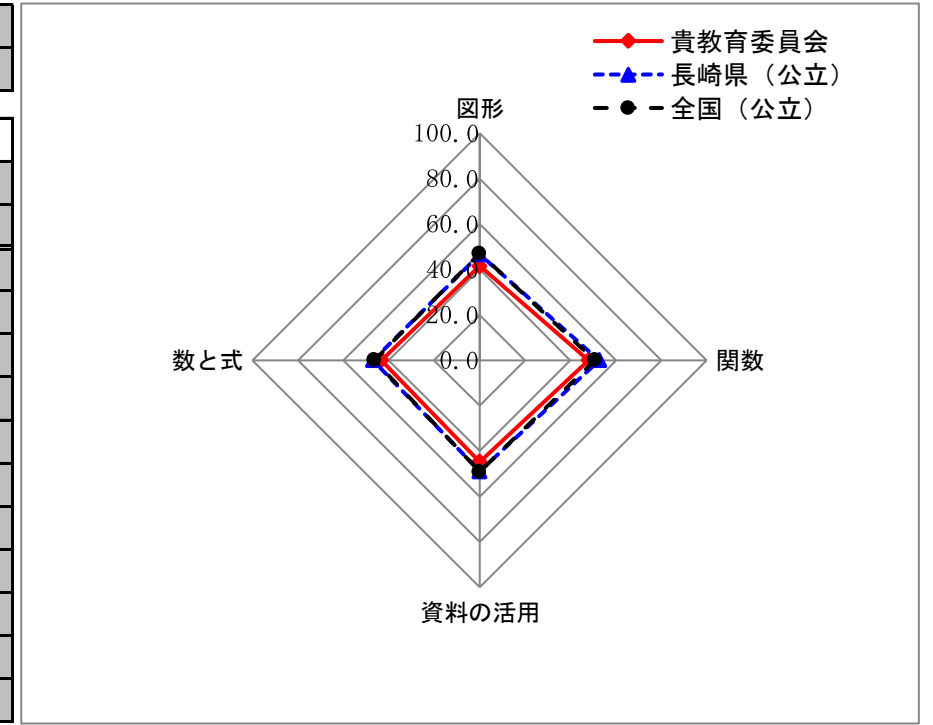
問題別調査結果 [数学B：主として活用]  
佐世保市教育委員会一生徒

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数		佐世保市教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	
		2,029	11,344	982,786	
分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（%）		
			貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）
全体		15	44	48	48.1
学習指導要領の領域	数と式	3	43.2	46.9	46.3
	図形	6	41.6	46.6	47.1
	関数	3	48.0	52.7	50.8
	資料の活用	3	44.8	48.9	49.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	10	32.4	36.6	36.8
	数学的な技能	3	55.9	61.8	61.2
	数量や図形などについての知識・理解	2	82.6	86.6	85.1
問題形式	選択式	4	50.1	54.0	53.8
	短答式	6	62.1	67.1	66.3
	記述式	5	16.9	21.3	21.7

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率（%）			無解答率（%）				
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）	貴教育委員会	長崎県（公立）	全国（公立）		
1 (1)	隣り合う4枚の正三角形の真ん中の1枚をある模様としたときに、残りの3枚にできる模様を選ぶ	事象を図形間の関係に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる		1 (1)イ						○			○			64.8	68.1	67.5	0.2	0.1	0.2
1 (2)	四角形ABCDの模様が1回の回転移動によって四角形BEFGの模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する	2つの図形の間を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明することができる		1 (1)イ						○			○			9.7	16.9	14.0	23.0	17.2	17.7
1 (3)	与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに、その基となる正三角形の模様を選ぶ	与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を的確に捉えることができる		1 (1)イ						○			○			51.8	54.0	52.8	0.6	0.2	0.3
2 (1)	六角形を5個つくるのに必要なストローの本数を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	1 (2)ア							○			○			80.0	83.0	80.4	1.7	0.9	1.3
2 (2)	六角形をn個並べて6本ずつ囲んだときに、2回数えているストローをnを用いた式で表す	与えられた説明の筋道を読み取り、事象を数学的に表現することができる	1 (2)ア							○			○			39.7	43.9	44.1	10.9	8.0	8.3
2 (3)	六角形をn個つくるのに必要なストローの本数を、6+5(n-1)という式で求めることができる理由を説明する	事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明することができる	1 (2)ア							○			○			10.0	13.9	14.5	30.6	23.4	23.4
3 (1)	与えられた表やグラフから、5月31日から4日経過したときに貯水量が2820万 <sup>3</sup> であったことを表す点を求める	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる		1 (1)ウ									○			90.4	92.7	90.8	4.8	2.9	3.5
3 (2)	与えられた表やグラフを用いて、貯水量が1500万 <sup>3</sup> になるまでに5月31日から経過した日数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる		2 (1)イ、エ						○			○			16.7	19.0	18.4	39.3	34.0	33.4
3 (3)	与えられた式から、aの変域に対応するbの変域を求める	数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理することができる		2 (1)イ									○			36.8	46.3	43.2	22.2	18.3	17.5
4 (1)	2つの角の大きさが等しいことを、三角形の合同を利用して証明する	筋道を立てて考え、証明することができる	2 (2)イ、ウ							○			○			32.2	39.7	44.1	26.8	20.1	20.3
4 (2)	∠BADと∠CBEが20°のとき、∠BEAの大きさを求める	付加された条件の下で、図形の性質を用いることができる	2 (1)ア							○			○			51.0	56.3	60.0	13.6	12.3	10.9
4 (3)	点Dと点EをBD=CEの関係を保ったまま動かしたとき、∠BFDの大きさについて、正しい記述を選ぶ	証明した事柄を用いて、新たな性質を見いだすことができる	2 (1)ア 2 (2)ウ							○			○			40.0	44.7	44.5	1.3	0.8	0.9
5 (1)	1週間の総運動時間が420分のとき、含まれる階級の度数を求める	資料から必要な情報を適切に読み取ることができる		1 (1)ア									○			74.9	80.4	79.3	8.0	5.5	5.9
5 (2)	全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間が長い方かどうかを判断するための根拠となる値として適切なものを選ぶ	与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈することができる		1 (1)ア、イ						○			○			43.7	49.0	50.3	1.0	0.6	0.8
5 (3)	「420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる		1 (1)イ						○			○			16.0	17.3	17.6	38.6	32.4	31.2